

2019年 11月16日(土)～
2020年 1月31日(金)

前期＝2019年11月16日(土)～12月15日(日)
後期＝2020年1月4日(土)～1月31日(金)
○前期と後期で展示替あり

開館時間＝午前10時～午後5時(入館は午後4時半まで)
休館日＝月曜日(但し、2020年1月13日(日)は開館、翌14日(金)は休館)、
年末年始(2019年12月16日(日)～2020年1月3日(金))

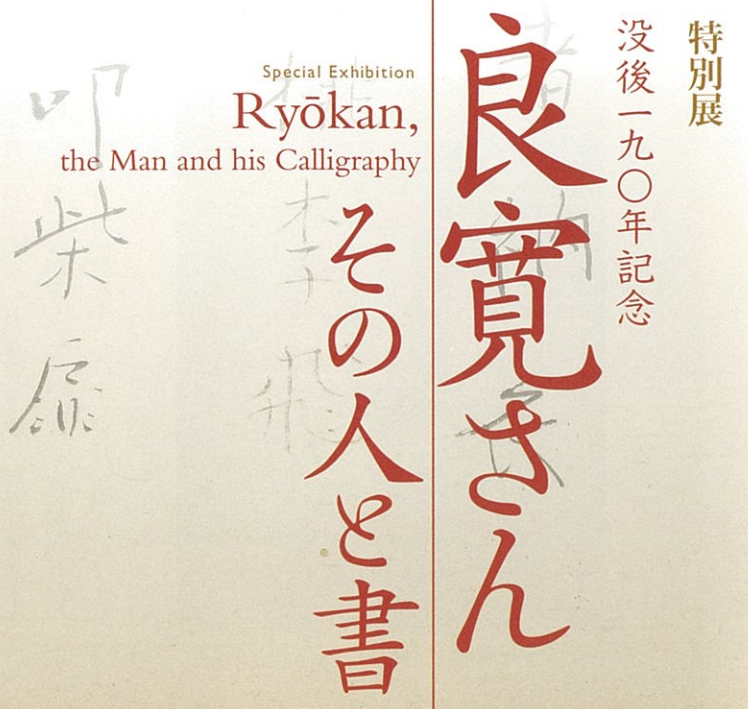
観覧料＝一般1,400円・高大生700円・小中生500円
○20名様以上の団体は一般200円、その他100円割引
○土曜日は小中高生入館無料

主催＝徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・毎日新聞社
後援＝全国良寛会・一般財団法人 毎日書道会
協力＝名古屋市交通局

企画展
The Beauty and Diversity of
Classical Japanese
Musical Instruments
奏でる
楽器と調べ

黒漆雲龍文螺鈿琵琶 部分

特別展
没後一九〇年記念
Special Exhibition
Ryōkan,
the Man and his Calligraphy
良寛さん
その人と書



自画像賛「四月朱名節」 部分 個人蔵

「良寛さん-その人と書」展

- ◆記念講演会
「良寛さん-その人と書」
良寛研究家・全国良寛会副会長 小島正芳氏
日時＝2019年11月16日(土) 午後1時30分～3時
※入館者聴講自由(入館料別途要) 定員150名
- ◆ギャラリー・トーク
日時＝2019年12月1日(日)、2020年1月5日(日) 午後1時～
※入館者参加自由(入館料別途要)
- ◆関連展示
「東海毎日新春書展」
会期＝2020年1月4日(土)～1月31日(金)
会場＝徳川美術館 東ロビー
※入館者見学自由(入館料別途要)
- ◆新春揮毫
毎日書道会評議員 安藤豊邨氏
日時＝2020年1月4日(土) 午後2時～
※入館者見学自由(入館料別途要)

「奏でる 楽器と調べ」展

- ◆演奏会
「尺八の調べ-古今の楽器とその響き-」
東北大学名誉教授・美術史学者・尺八奏者 泉 武夫氏
日時＝2019年11月17日(日) 午後1時30分～
※事前申込制 1,000円(入館料別途要) 定員150名
- ◆お話と演奏
「能の囃子の調べ-大名たちに愛された音楽-」
笛：竹市 学氏 小鼓：後藤嘉津幸氏
大鼓：河村真之介氏 太鼓：加藤洋輝氏
日時＝2020年1月19日(日) 午後1時30分～
※事前申込制 1,000円(入館料別途要) 定員150名
- ◆ギャラリー・トーク
日時＝2019年11月21日(水)、2020年1月12日(日) 午後1時～
※入館者参加自由(入館料別途要)
- ◆土曜講座
「尾張徳川家伝来の楽器」
日時＝2020年1月18日(土) 午後1時30分～3時
並木昌史(徳川美術館 学芸員)
※有料(入館料別途要)

「演奏会」と「お話と演奏」のお申し込み
■往復はがき ■FAX：052-935-9444 ■Email:taiken@tokugawa.or.jp
いずれかでお申し込みください。
ご希望の企画名・氏名・住所・電話番号・参加人数・当館会員の場合は
賛助会または友の会であることを明記の上、お申し込みください。

特別公開

国宝 源氏物語絵巻 柏木(三)・宿木(一)
11月23日(土)祝～12月1日(日)

- ◆記念講座
「柏木の恋～猫が乱した運命の糸～」
小説家 奥山景布子氏
日時＝2019年11月28日(水) 午後1時30分～
※入館者聴講自由(入館料別途要)
- ◆土曜講座
「王朝物語の絵画化」
日時＝2019年11月30日(金)
午後1時30分～3時
四辻秀紀(徳川美術館 前学芸部長)
※有料(入館料別途要)



国宝 源氏物語絵巻 柏木(三) 絵 部分

◆コラボ展示
「工芸で読む源氏物語-花九つ凛と光りて-」

会期＝2019年11月26日(水)～12月1日(日)
会場＝徳川美術館 西ロビー
根付・絞り染め・一刀彫・七宝・筆・型紙・組紐・和紙・漆。伝統工芸を受け継ぐ9人の
女性職人グループ「凛九 Link」が、国宝「源氏物語絵巻」の特別公開にあわせ
『源氏物語』に登場する女性をイメージした作品を展示発表します。

特集展示

国宝 初音の調度
2020年1月4日(土)～2月2日(日)



国宝
初音時絵鏡台

徳川園催事

錦を纏う 徳川園紅葉祭
11月22日(金)～12月8日(日)



〈次回予告〉

特別展

尾張徳川家の雛まつり

企画展

いつだってKawaii大好き
2020年2月8日(土)～4月5日(日)



有職雛飾り

真美人 猫 部分
楊洲周延画

徳川美術館
THE TOKUGAWA ART MUSEUM
Tel.052-935-6262 Fax.052-935-6261
蓬左文庫
HOSA LIBRARY CITY OF NAGOYA
Tel.052-935-2173 Fax.052-935-2174
〒461-0023 名古屋市東区徳川町



特別展
没後一九〇年記念

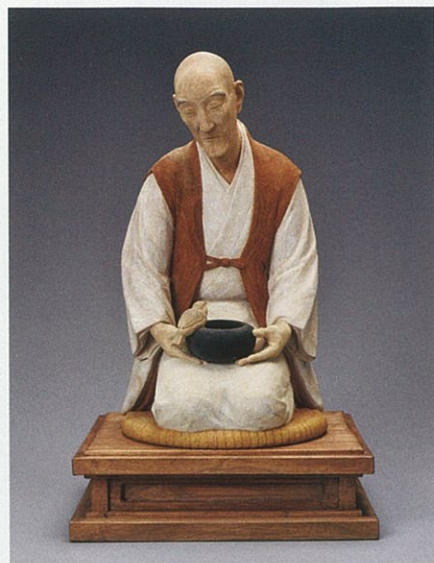
良寛さん

その人と書

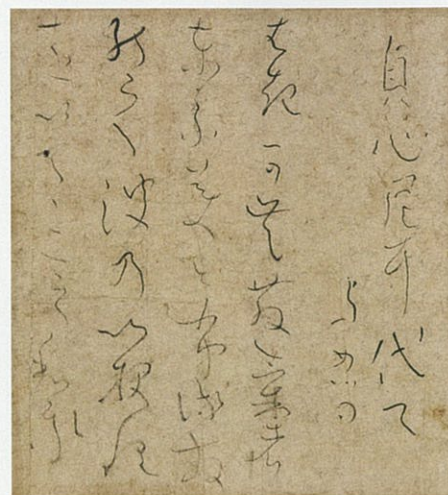
Special Exhibition
Ryōkan,
the Man and
his Calligraphy

「良寛さん」と呼ばれ、今も多くの人々に愛され続ける良寛（二七五八〜一八三三）は、名利にとらわれぬ生活を送った托鉢僧でした。清貧の中で生きとし生けるものに慈愛の心を注ぎ、子どもらと手まりをついて戯れ、友と語り、和歌や漢詩など芸術にいきましました。また、仏教者としても菩薩行を実践した稀有な人でした。その人間性を表出した書は、見る者の心にあたかさと感動を与えてくれます。

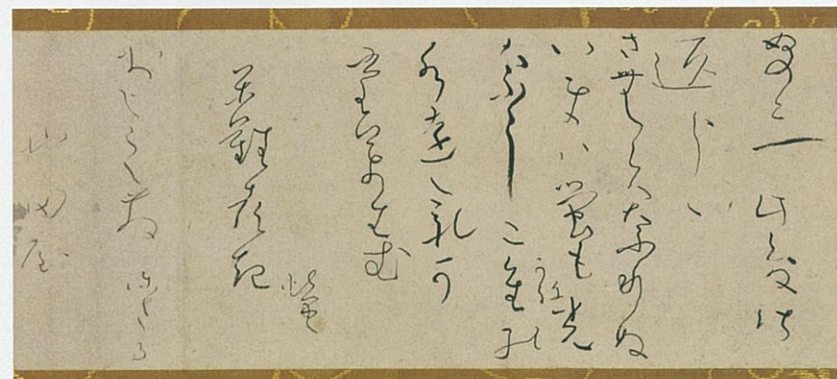
本展では、日本有数の良寛コレクター秘蔵の遺墨を中心に、新たにそのコレクションに加えられた四八件を含む約二五〇件を公開します。その書と芸術に触れていただく絶好の機会となります。



茂木弘次作「良寛と雀」 個人蔵

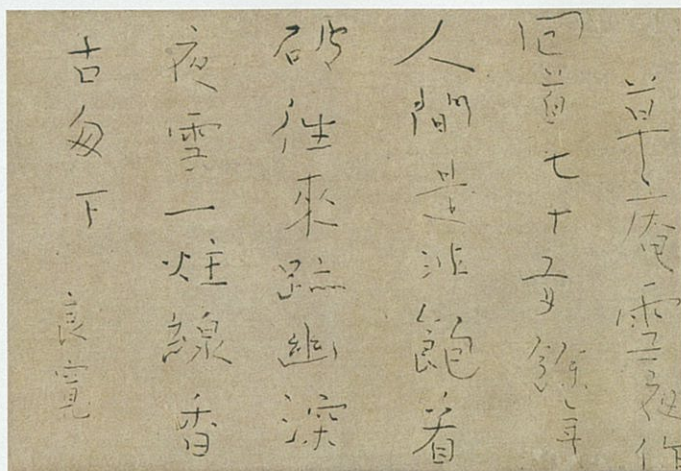


和歌「貞心尼に代てよめる」 個人蔵 11/16〜12/15



書簡「およしさ宛 めのこ一」 個人蔵

良寛さんの書について、きたおじろさん（北大路魯山人）は、「良寛様の書は、質からいっても、外貌からいっても、実に稀にみるすばらしい良能の書であって、珍しくも正しい嘘のない姿がある」と述べて高く評価している。



漢詩「草庵雪夜作」 個人蔵



新緑の五合庵（新潟県燕市）

企画展

奏でる

楽器と調べ

Thematic Exhibition
The Beauty and
Diversity of
Classical Japanese
Musical Instruments

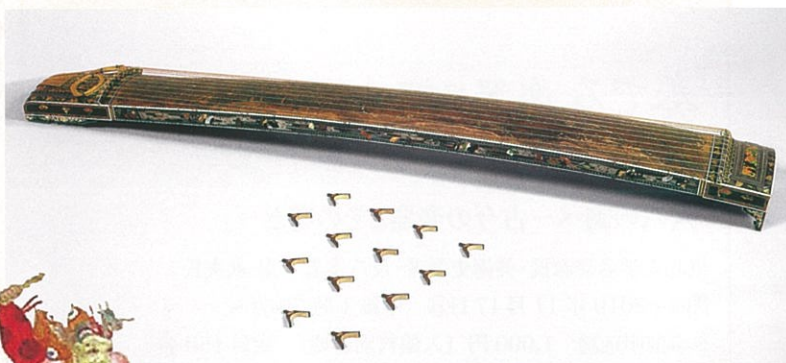
日本の古典音楽には、宮廷の式楽である雅楽をはじめ、武家の式楽である能楽、語り物の元祖である平家琵琶などがあります。笙や琵琶・箏などの楽器のなかには、インドやペルシアに起源を持つ楽器や、笛や太鼓のように形を変えながら広く普及していった楽器もあり、それぞれ歴史とともに発展しました。また、江戸時代の大名の間では能楽が必須の教養であったため、尾張徳川家でも能楽に用いられる楽器を中心に、雅楽の楽器や女性の教養であった箏・三味線、琉球王から贈られた琉球楽器一式なども伝えられました。今回の展覧会では尾張徳川家に伝わったさまざまな楽器を一堂に紹介しつつ、日本の音楽の流れを紹介します。



釣太鼓 江戸時代 18〜19世紀



能管 瓦落 室町時代 16世紀 藤田家伝来



箏 銘小町 室町時代 15世紀 高原院春姫（尾張家初代義直正室）所用



菊田蒔絵小鼓・葵紋扇散蒔絵鼓箱
小鼓 室町時代 16世紀
鼓箱 江戸時代 17世紀
豊臣秀頼・徳川義直（尾張家初代）所用



琉球楽器 銅鑼・小銅鑼・鼓 琉球王朝時代 18世紀